



きんさい 柳井

つくれる文具屋さん (有)木阪賞文堂 金魚ちょうちんリングノート やない優美蒔絵ペン

今月の「きんさい柳井」はポップでかわいいデザインが人気の「金魚ちょうちんリングノート」と高級感あふれる「やない優美蒔絵ペン」をご紹介します。

2011年に発売した「金魚ちょうちんリングノート」は、市内の木阪賞文堂が「地元の文具店として柳井市や金魚ちょうちんをPRするものを作りたい」と試行錯誤し、年齢問わず親しめるノートを考案。木阪泰之代表(51)とスタッフたちで話し合いを重ね、正面から見た金魚ちょうちんのデザインに決めたのだとか。当初はB5サイズの赤色ノートのみでしたが、好きな色を選ぶ楽しみを持ってもらおうと5色のカラーバリエーションやA6・A5、

メモサイズも増やし、市内の企業や商店とタイアップしたデザインの商品も展開しています。また、赤色ノート限定で「AR」という機能を取り入れ、スマートフォンやタブレット



商品を紹介してくれた木阪泰之代表

型端末でアプリをダウンロードしてノートにかざすと柳井市の魅力をPRする動画が流れる工夫も。この動画は白壁の町並みや金魚ちょうちんなどのポストカードを組み合わせ、オリジナル音楽を使って制作したそうで、木阪代表は「これを見た人に柳井に来たい、帰りたいと思ってもらえたら。渾身の一冊です!!」と話します。

「紙があればペンも」という発想から生まれた「やない優美蒔絵ペン」は、白壁の町並みが映える青空をイメージし、蒔絵独特の色彩を再現した商品。白壁の町並みに金魚ちょうちんが揺れているデザインで、図柄のベースに印刷を施し、ポイント部分には金粉・銀粉を一つひとつ手作業で巻いて仕上げています。「書くということは心地よくて、発想も広がります。金魚ちょうちんには故郷への愛を再認識する力があると思うので、地元の方に親んでもらい、柳井に関心を持ってもらうための道具の一つとして使っていただけたらうれしいですね」とは木阪さん。新しい生活が始まるこの季節、お土産としても自分用としてもオススメです。

問合せ／木阪賞文堂

☎0820-22-0150



「やない優美蒔絵ペン」



読者プレゼント
金魚ちょうちん
リングノート
(5冊セット) 3名様

柳井小学校 柳の妖精 “なぎ”

柳井小学校に住む、おちゃめな柳の葉っぱの妖精。ふわふわ飛んだり、校庭をちょこちょこ走ったりして、校内をうろろしながら児童を見守っている。時には一緒に遊んで、時には一緒に勉強して、見えないけれどいつも児童の側にいる。

柳井小学校(新田保弘校長、529人)の“柳の妖精なぎ”は、柳のようにしなやかで少々のことでは折れない、強い心をもった児童に育ってほしいという願いを込めて誕生。同校卒業生で蜜柑デザイン工房の林美香さんにデザインを依頼し、昨年9月に児童たちにお披露目したのだとか。同小は「よさが輝く・夢が生まれる学校」をキャッチフレーズに、商都柳井の中心校として伝統を守りつつも新しいことにチャレンジしています。子どもの頃から商売のノウハウなどを学び、町おこしにも取り組んでもらえたらと、柳井商工会有志の協力でキャリア教育を実施。11月の柳井まつりでは「ちびっこ屋台」事業を行い、昨年は“なぎクッキー”や“なぎノート”を販売して注目を集めました。また、校内では“なぎ”を使って高学年が低学年児童に風邪予防や掃除の仕方を指導するなど、子どもたちの中でも定着してきたそう。「よさや可能性を広げ、夢を抱き、その実現に向けて粘り強く“しなやかさ”を持って取り組む児童の育成を目指したいですね」とは新田校長。みんなを優しく見守る“なぎ”のもとで、しなやかにたくましく成長して下さい。



柳井小学校舎